

# 令和3年度事業報告書

特定非営利活動法人マザーリーフ

## I. 事業実施の概略

特定非営利活動法人マザーリーフは、乳児から高齢者までの全ての世代に対して、子育て支援・引きこもり支援・高齢者支援・心を豊かにする心理学講座など、各世代間の悩み、苦しみ、不安を分かち合いながら、健全な人間関係の育成、支援、理解を、実践を通して学びあうための事業を行い、一人ひとりが地域社会の大切な、かけがえのない存在として成熟しあい、生きる知恵を持つ老賢者が増し、豊かな人間関係を築ける地域社会づくりを実現するために、本法人の定款第5条に定める次のような事業を実施した。

(1) ボランティア養成講座事業

\* 託児ボランティア養成講座 \* 傾聴ボランティア養成講座

(2) 高齢者生きがい講座事業

\* 施設訪問サロン

(3) 結婚講座事業

\* 結婚スタッフ講座 \* 結婚交流セミナー

(4) 心理学勉強会（人間学）事業

\* 絵本研究グループ（岡山刑務所社会性涵養講座）

\* コラージュ心理講座

\* 令和3年度赤い羽根ボランティア団体・NPO活動支援事業

「自分生き活き！内観リカバリー研究会」

\* 2021年度公益信託おかやま心の福祉基金助成金事業

\* 令和3年度岡山市人権啓発活動補助金対象事業「女性も輝く未来へ！！」事業

(5) 親子等体験学習事業

\* 令和3年度子どもゆめ基金助成事業「個性交流みんながリーダーだ！！」事業

(6) 芸術・文化表現事業

\* 人形劇演劇活動

(7) 傾聴有償サービス事業

\* 訪問傾聴

(8) ふれあいの場づくり事業

\* 交流スペース提供 \* イベント企画・サポート

尚、定款第5条（1）ボランティア養成講座事業（3）結婚講座事業（6）芸術・文化表現事業（8）ふれあいの場づくり事業は、実施しなかった。

## II. 事業の実施に関する事項

### 1. 特定非営利活動に係わる事業

#### A) 心理学勉強会（人間学）事業 絵本研究グループ 岡山刑務所社会性涵養講座事業

##### ①事業目的

自分の犯した罪を認める勇気と未来を変える生き方を、絵本を読み解きながら、エンカウンターをとおして、人の気づきを聴き、物事の捉え方を学び合う。

##### ②事業内容

令和3年4月～令和4年3月を今年度講座実施期間とし、岡山刑務所の受刑者に対し、毎月2回の絵本心理講座を開催する。

##### ③事業場所及び活動日・参加人数

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	1講座の従事者	1講座の受益対象者	支出額 (千円)
				人数	総数及び人数	
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	絵本研究グループ 20期生6講座	4月12日～6月28日 10時～11時30分	岡山刑務所	4名	受刑者5名	0円
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	絵本研究グループ 21期生12講座	7月12日～12月27日 10時～11時30分	岡山刑務所	4名	受刑者7名	0円
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	絵本研究グループ 22期生5講座	1月31日～3月28日 10時～11時30分	岡山刑務所	4名	受刑者4名	0円

##### ④事業成果

講師の問いかけに対し、受講者が今の気持ちを自己開示する事で、互いの意見を聴き、尊重して話し合う場となっている。21期生は、初めて出会う絵本講座から徐々に意見を述べ、素直に気づきを発言できるようになり、講座の参加が2期目となる20期生、22期生は、イソップ寓話から様々な視点で各々の死生観や命のメッセージを深く捉えるようになり、これまでの自己を客観的に見つめ、罪を犯した過去の自分を認め、これからの生き方について向き合えるようになった。

#### B) 心理学勉強会（人間学）事業 コラージュ心理講座事業

##### ①事業目的

多様な感性に触れる事で刺激され感性が磨かれ敏感になり、自己表現として「コラージュ」を学ぶ。傾聴・カウンセリングに必要な立体的な捉え方、多方向からの見方、洞察力を学ぶ。エンカウンターで進行しながら、コラージュ作成前後の気持ちの変化や気づきを深め、学び合い育ち合う場を提供する。

##### ②事業内容

令和3年4月～令和4年3月まで、10回の講座を予定していたが、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、8回の講座を実施した。

各回当日テーマを決め、テーマの中で今の自分に向き合いながらコラージュ作成し、仲間の中でシェアすることで、さらに深まり、見方が変わり、気づきが生まれる。コラージュ表現を言葉に置き換えて、皆に伝える、感じたことを言葉にする。仲間の中で進め方、エンカウターの仕方、深め方も併せて学び、育ち合う。エンカウターの中で、無意識を探り、自分の思いがけない気づきを自己開示しながら、コラージュ作成の前後の心の状態の変化を分かち合う。

### ③事業場所及び活動日・参加人数

定款の事業名	事業内容 テーマ	実施日時	1回の 従事者人数	1回の受益対象者 範囲及び人数
(4)心理学勉強会(人間学)事業	誕生	4月17日10時～12時	1名	6名
(4)心理学勉強会(人間学)事業	感動	7月17日10時～12時	1名	7名
(4)心理学勉強会(人間学)事業	トンネル	10月16日10時～12時	1名	5名
(4)心理学勉強会(人間学)事業	秋	11月20日10時～12時	1名	6名
(4)心理学勉強会(人間学)事業	来年の私	12月18日10時～12時	1名	5名
(4)心理学勉強会(人間学)事業	お金	1月15日10時～12時	1名	5名
(4)心理学勉強会(人間学)事業	よろこび	2月19日10時～12時	1名	5名
(4)心理学勉強会(人間学)事業	卒業	3月19日10時～12時	1名	6名

B) 事業費合計 ￥30,000

### ④事業成果

コロナ禍の「トンネル」の中であっても、日常の中にあるテーマに対し、各々の捉え方の変化に向き合いながら、コラージュを作成することで、この時だからこそその「感動」や「よろこび」にあらためて気づくことができた。コロナ禍でこれまでの生活が一変していく中、学び合う仲間とコラージュをとおして個性的な表現や自由な表現を認め合い、気づきを言葉にしていくことができる場所は、貴重であり、様々なライフスタイル、ライフステージの中で必要である。

### C) 心理学勉強会(人間学)事業

令和3年度赤い羽根ボランティア団体・NPO活動支援事業

「自分生き生き！内観リカバリー研究会」

#### ①事業目的

最近、統合失調症の当事者や支援者の中で、リカバリー(recovery)という言葉が盛んに使われるようになってきているが、リカバリーとは、「障がいを抱えていたとしても、すべての人は、それぞれ、自分が求める生き方を主体的に追求すること」ができ、それを支援することが、支援者、協力者、関係者に求められていることである。現在の一方的な「支援」というスタンスでは良い関係性も築けない。本人のストレングスを活かし、セルフケアを身に着け、自らがリカバリーしていく中で、必

要とされるのはコプロダクトのような協働作業であり、基盤になるのは内観的に自己を観直すことである。自分に対する気づき、他者に対する気づきを通して、新たな自分を再構築、リカバリーしていく実践的な場が必要である。本人が協働学習の場において、様々な人と一緒になって体験、実践し、ともに学ぶ経験ができる場を提供することが求められている。ウィズコロナの時代に、皆が支援される、支援を待つ者としてではなく、新たな自己を創造、再構築できる時代として、そのリカバリーのプロセスを、個人だけでなく地域のネットワークで活かし、コロナ禍社会をも変容、イノベーションさせることが期待される。こころに病を抱えた人、コロナうつ、困難を経験した人が単に福祉の受け手としてではなく、人や地域、社会を活性化させ、新たな時代を共に創る人材となることを目的とする。誰にでもリカバリーは可能である。そしてこの困難な中で地域社会に一つでも新たな資源を創造するために、様々な立場の人が集い、理解し、伝えあうコプロダクションモデルの実践者となる人材の育成を目指す。

## ②事業内容

主な対象者：うつ症状、精神障がい、発達障がい等を抱えている人及び、その家族、支援者、協力者

対象人数：20名（新型コロナウイルスの感染拡大状況を見て調整）

実施スケジュール：【年間10回「新・自分を活かし他人も活かす心の講座」】内観的な心理学を基に、自分が生き生きと生ききる、周りも生きる学びの場づくりを提供。「自分生き生き！内観リカバリー研究会基礎講座」を開催し、10回の内観を取り入れた日常の心理学講座を開催する。【年1回「内観リカバリー講演&エンカウンター」】講演会と体験的ワークショップを開催。講演会は、慈圭病院理事長、いのちの電話理事長、日本内観学会会長でもある堀井医師より内観を通して人が生きることへの繋がりについて講演いただき、リカバリーのためのワークショップとして、内観エンカウンター、内観実践の分科会を開催する。自分に対する気づき、他者に対する気づきを通して、新たな自分を再構築、リカバリーしていく実践的な場とする。

## ③事業場所及び活動日・参加人数

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	1回の従事者 人数	1回の受益対象 者範囲及び人数
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	打ち合わせ	4月20日 13時～17時	きらめきプラザ 小会議室1	2名	10名
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	内観的に自己を観るとは？ 分ち合い/打ち合わせ	4月24日 10時～15時	きらめきプラザ 小会議室1	2名	12名 12名
(4)心理学勉強会 (人間学)事業	いろんな人がいてもいい 分ち合い/打ち合わせ	6月26日 10時～15時	きらめきプラザ 大会議室	2名	10名 10名
(4)心理学勉強会	囚われと内観	7月24日	きらめきプラザ	2名	10名

(人間学) 事業	分ち合い/打ち合わせ	10時~15時	小会議室1		10名
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	分ち合い/打ち合わせ	7月31日 10時~12時	きらめきプラザ 小会議室1	1名	5名
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	分ち合い/打ち合わせ	8月7日 10時~13時	きらめきプラザ 小会議室1	2名	5名
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	打ち合わせ	10月19日 13時~17時	きらめきプラザ 小会議室1	2名	10名
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	受けとめ方と内観 分ち合い/打ち合わせ	10月23日 10時~15時	きらめきプラザ 中会議室	2名	10名 10名
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	分ち合い/打ち合わせ	10月30日 10時~12時	きらめきプラザ 小会議室1	1名	5名
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	青年期の見直しと内観 分ち合い/打ち合わせ	11月27日 10時~15時	きらめきプラザ 中会議室	2名	8名 8名
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	親子関係の見直しと内観 分ち合い/打ち合わせ	12月25日 10時~15時	きらめきプラザ 中会議室	2名	8名 8名
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	内観リカバリー講演&エンカウ ンター~みんなで生き生き!共 に学び合おう!~講演「森田療法 を内観療法にプラス 五つの “あ”精神療法」(堀井医師)... 内観エンカウンター&内観実践	1月16日 10時~15時	きらめきプラザ 大会議室全室	5名	30名
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	あるがままの自分と内観 分ち合い/打ち合わせ	1月22日 10時~15時	きらめきプラザ 大会議室1	2名	8名 8名
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	分ち合い/打ち合わせ	1月29日 10時~12時	きらめきプラザ 小会議室1	1名	5名
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	気になる人=自分を見直す 過去・未来の自分へ	2月27日 10時~15時	きらめきプラザ 大会議室1	2名	12名 13名
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	家族関係(家族療法) 振返りと分ち合い	3月26日 10時~15時	きらめきプラザ 大会議室1	2名	9名 10名

C) 事業費合計 ￥ 281,804

#### ④事業成果

当初の事業案では、5月から講座を開始し、年間1回の講演会と10回の講座を行う計画であったが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、当初、令和3年9月26日に予定していた講演会の日程も令和4年1月16日に変更し、分

ち合いや打ち合わせの中で寄せられた、参加者の要望や講座プログラムの見直しも随時行いながら、講演会1回のほか、15回の講座及び分ち合いの場を開催することができた。また、開催時には、貸室の換気及び消毒、マスク着用等を徹底し、参加者が十分な間隔を取って受講できるよう、定員人数を考慮した部屋の変更等を行った。コロナ禍で、職場や家庭の事情で参加が難しいという意見やキャンセルもあった一方、身近な方がうつ状態となった相談や体験の声を聴く中で、地域の身近な場所で、学び合い、話し合える場の必要性を強く感じた。

1月に開催した、「内観リカバリー講演&エンカウンター」では、昨年同様、長年精神医療に係わられている、堀井医師、大森医師に、コロナ禍の時代だからこそ、迷いの多い時代だからこそその「内観」の必要性和有効性について、登壇をいただく予定であった。しかし、12月の大森医師の突然の訃報にかなわず、堀井医師の講演と共に、長年、当法人を顧問として支えて下さった大森医師からのご教示を振返り、エンカウンターをして分ち合いを行った。参加者からは、「具体的、実践的な話が多く、他の講演会と違いよかった。」「身近な人とお別れする中で、自分がお返しできていないことが、とても多いことに気づいた。」「共にエンカウンターに参加し、実際に会って声が聴ける場は大切です。」「泣きながらも動く・・・のメッセージが心に残りました。」との声が寄せられた。

#### D) 心理学勉強会（人間学）事業

##### 2021年度公益信託おかやま心の福祉基金助成事業

##### ①事業目的

全ての世代に対し、子育て、ひきこもり、高齢者、精神障がい者、結婚等、様々な悩みや不安を分かち合いながら、心を豊かにする内観、心理学講座などをおし、健全な人間関係の育成、支援、理解と実践を学び合う場づくりを行う。

##### ②事業内容

現在、ピアサポート活動を行ってきた会員から、自分が、マザーリーフで出会い、学んだことを当事者の仲間にも伝えたいと提案があった。今までの「当事者」「支援者」という立場や区切りを越え、一つのグループとして、各々の自己実現を目指し、支え合い、より添う同伴者づくりにつなげていきたい。毎月2回のエンカウンター（分かち合いの場）を開催し、精神障がい者及び、その家族、支援者のために、エンカウンターをとおした育ち合う会を継続して開催し、当事者であっても、ボランティアや支援者、ピサポーターとして活動できることを目指す。

##### ③ 事業場所及び活動日・参加人数

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	1回の従事者 人数	1回の受益対象者 範囲及び人数
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	内観心理講座(エンカウンター) カウンセリング	4月9日から3月1 2日まで(17回)	きらめきプラザ2階 会議室	1名	7名

D) 事業費合計 ￥53,510

④事業成果

互いに個性があっても、その違いを認め合い、「不安」に囚われることなく、理解し合える場が身近にあることで安心できた。参加者同士で情報や学びを共有することで、新しい「学びのかたち」を見出せた。障がいがあっても、個性があっても、人と人との交流が必要であることを、切に感じた。人とつながる大切さを感じ、様々な立場の人が集い、コプロダクションの考えを实践する場でありたい。

E) 心理学勉強会（人間学）事業

岡山市人権啓発活動補助金事業「女性も輝く未来へ！！」事業

①事業目的

様々な状況の女性が自立・自立を実現しながら、「女性の力」を最大限発揮できる活力ある社会をめざすことを目的とする。自分の周りの身近な差別問題から、人権を尊重した差別のない共に歩むインクルーシブな社会構築を目指す。

②事業内容

無料託児付き講演会およびエンカウンター。「子育て、家庭、社会へと働く力を大切に！！」との企画会員の呼びかけから、共に支え合い、成長し合う仲間づくりにより、エンカウンターワークショップを用いて、差別偏見の問題解決、女性活躍推進を身近に考える。

③事業場所及び活動日・参加人数

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	1回の従事者人数	1回の受益対象者総理及び人数
(4)心理学勉強会（人間学）事業	「女性も輝く未来へ！！」絵本から観る内観の世界～講演会	10月31日 午前10時～ 15時	きらめきプラザ2階 会議室	5名（うち託児者1名）	33名 12名

E) 事業費合計 ￥82,719

④ 事業成果

コロナウイルス感染予防対策から、当初の開催予定日であった令和3年8月22日を変更し、令和3年10月31日に開催することができた。変更にも関わらず、ほとんどの参加者が、予定を調整し参加して下さった。

「差別」「人権推進」という言葉に囚われがちであるが、身近な家庭にもある差別感から問題を提起し、高齢化社会と少子化社会の中で、増加する夫婦の時間の見直しと、性別にかかわらず、すべての人に向け、自立と自律の世界や哲学の世界について知り、生涯を通じ学ぶことの大切さを分かち合った。講師による、わかりやすい男女差や脳内の違い、考え方の違い、内面を見つめる話の後に、各々が気づきをエンカウンターで話し合い、日常なかなかできない、各々が自分の目指

す姿について話し合う事ができた。

#### F) 親子等体験学習事業

独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金

子どもの体験活動助成事業「個性交流みんながリーダーだ!!」事業

##### ①事業目的

個性のある子どもたちが、年齢、性別、お互いの違いを認め合い、みんなの前で自分を自由に表現し、長所を発見し、自信をつけることを目的とする。一泊研修という普段とは違う環境の中で、参加する子ども達みんなが、様々な場面でリーダーになり、自分に自信を持つことの大切さ、自分にも出来たという達成感を感じることで、それを自分の成長につなげる。

##### ②事業内容

午前は「自己開示力を育て想像力を豊かにする工作」として、子ども達がそれぞれ自由にデザインを考えたペンダントとペットボトル空気銃を作成後、グループに分かれて的当てゲームで楽しんだ。午後から、「個性を発揮!みんなが違っていい作品」として、コロナ禍でも手洗いが楽しめる、石けんづくりと、キャンドルライトづくりを楽しみ、自分が工夫した点やこだわりの部分を発表した。「個性を発揮!想像力を高めるカプラ!」やキャンドルサービスで1日目を締めくくり、2日目は、自然の中で自由に親子遊びや変わり自転車に乗り、交流を楽しみ、2日間の振り返りを親子で発表し合い、昼食後に退所とした。

##### ③ 事業場所及び活動日・参加人数

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	1回の従事者人数	1回の受益対象者範囲及び人数
親子等体験 学習事業	個性交流みんながリーダーだ!!	7月22日 午前9時~ 7月23日 午後14時	国立吉備青少年自然の家	8名	親子31名

F) 事業費合計 ￥301,269

##### ④ 事業成果

今回の参加児童は、一人っ子、もしくは、兄弟と年齢が離れ、一人っ子のように育った児童が半数以上であった。皆、最初は「お友達ができるかな」と、心配そうであったが、各グループに分かれて活動するうちに、少しずつ、「仲間づくり」が進み、幼年の児童に対して、皆がお兄さん、お姉さんとなって、作業を手伝い、遊びの輪に入れて、一緒に活動を楽しむことができていた。普段、「危ないことはしない」「できないことは、(親に) やってもらう」ことに慣れていた児童が、親たちと別室での活動を行うことで、「自分でできる」「自分で頑張る」ように成長した姿に接し、親御さん達との共有もできた。子ども達は、初めての2段ベッドに興奮し、夜、部屋ごとに分かれてからも、賑やかに互いの部屋を行き



来し、羽目を外し、失敗も……。でも、この経験が大切なのだと、皆が学び合うことができた。子どもを交えた振返りや、大人同士、スタッフと親御さんでの振返りも行いながら、現在の子育てについて、今、親がどう行動すべきかを話し合った。とても有意義な時間を参加者全員で分かち合うことができた。

### Ⅲ. 会議の開催に関する事項

#### 1. 総会

開催日時及び場所

令和4年4月10日(日) 午前10時～12時 きらめきプラザ2階 会議室

議題 開会

総司会： 湯浅 啓子

理事長挨拶

理事長： 藤 恵子

議長・書記選出

議長： 湯浅 啓子

書記： 別所 恭子

議事 令和3年度事業報告

事務局長：光岡 亜希子

令和3年度理事会報告

事務局長：光岡 亜希子

令和3年度会計報告

会計： 光岡 亜希子

監査： 福田 利恵

令和4年度事業計画(案)

理事長： 藤 恵子

令和4年度収支予算(案)

会計： 光岡 亜希子

その他 質疑応答

議長・書記解任

閉会

#### 2. 理事会

令和3年度の理事会は、計10回開催され、きらめきプラザ(岡山市北区南方2丁目13-1)において7回(7月・10月・11月・12月・1月・2月・3月)、メールで3回(5月・6月・8月)開催された。

- \* 令和3年5月9日(日) 第135回理事会(メール)
- \* 令和3年6月13日(日) 第136回理事会(メール)
- \* 令和3年7月11日(日) 第137回理事会(きらめきプラザ)
- \* 令和3年8月8日(日) 第138回理事会(メール)
- \* 令和3年10月10日(日) 第139回理事会(きらめきプラザ)
- \* 令和3年11月14日(日) 第140回理事会(きらめきプラザ)
- \* 令和3年12月12日(日) 第141回理事会(きらめきプラザ)
- \* 令和4年1月9日(日) 第142回理事会(きらめきプラザ)
- \* 令和4年2月13日(日) 第143回理事会(きらめきプラザ)
- \* 令和4年3月13日(日) 第144回理事会(きらめきプラザ)

令和3年度 活動計算書  
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人マザーリーフ  
(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		180,000
2. 受取参加費		133,500
3. 受取寄附金		98,000
4. 受取謝礼		0
5. 受取助成金等		535,359
受取民間助成金		
赤い羽根ボランティア団体・NPO活動支援事業助成	210,000	
公益信託おかやま心の福祉基金助成金	50,000	
岡山市人権啓発活動補助金	41,359	
子どもゆめ基金助成	234,000	
6. その他収益		1
受取利息	1	
雑収益	0	
経常収益計		946,860
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
消耗品費	72,803	
通信運搬費	34,368	
保険料	4,572	
役務費	0	
賃借料	84,490	
謝礼	406,000	
図書資料費	0	
印刷費	20,260	
会議費	65,767	
旅費交通費	42,440	
雑費	18,602	
その他経費計	749,302	
事業費計		749,302
2. 管理費		
(1) 人件費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
消耗品費	25,980	
通信運搬費	115,499	
保険料	8,750	
賃借料	3,680	
謝礼	2,000	
会議費	1,860	
光熱費	120,000	
雑費	30,000	
その他経費計	307,769	
管理費計		307,769
経常費用計		1,057,071
当期正味財産増減額		▲110,211
前期繰越正味財産額		259,917
次期繰越正味財産額		149,706

令和3年度 貸借対照表

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人マザーリーフ

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
流動資産合計		149,706
資産合計		149,706
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		259,917
当期正味財産増減額		▲110,211
正味財産合計		149,706
負債及び正味財産合計		149,706

令和3年度 活動計算書の注記

令和3年4月1日から 令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人マザーリーフ

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2011年11月20日 NPO法人会計基準協議会）によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	B) コラージュ心理講座事業費	C) 赤い羽根NPO活動支援事業	D) おかやま心の福祉基金助成事業	E) 岡山市入権啓発活動補助金事業	F) 個性交流みんながリーダーだ！事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	180,000	180,000
2. 受取参加費	30,000	50,000	0	16,500	37,000	133,500	0	133,500
3. 受取寄付金	0	0	0	0	0	0	98,000	98,000
4. 受取謝礼	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 受取助成金	0	210,000	50,000	41,359	234,000	535,359	0	535,359
6. 事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 未収金	0	0	0	0	0	0	0	0
8. その他収益	0	0	0	0	0	0	1	1
経常収益計	30,000	260,000	50,000	57,859	271,000	668,859	278,001	946,860
II 経常費用								
(1) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費								
消耗品費	5,016	21,949	4,707	21,456	19,675	72,803	25,980	98,783
通信運搬費	0	8,700	520	20,598	4,550	34,368	115,499	149,867
保険料	0	0	0	1,120	3,452	4,572	8,750	13,322
役員費	0	0	0	0	0	0	0	0
貸借料	5,840	34,230	34,840	4,180	5,400	84,490	3,680	88,170
謝礼	0	210,000	0	26,000	170,000	406,000	2,000	408,000
図書資料費	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷費	0	6,925	5,710	5,265	2,360	20,260	0	20,260
会議費	9,144	0	7,733	0	48,890	65,767	1,860	67,627
交通費	10,000	0	0	4,000	28,440	42,440	0	42,440
光熱費	0	0	0	0	0	0	120,000	120,000
雑費	0	0	0	100	18,502	18,602	30,000	48,602
その他経費計	30,000	281,804	53,510	82,719	301,269	749,302	307,769	1,057,071
経常費用計	30,000	281,804	53,510	82,719	301,269	749,302	307,769	1,057,071
当期経常増減額	0	▲21,804	▲3,510	▲24,860	▲30,269	▲80,443	▲29,768	▲110,211

令和3年度 財産目録

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人マザーリーフ

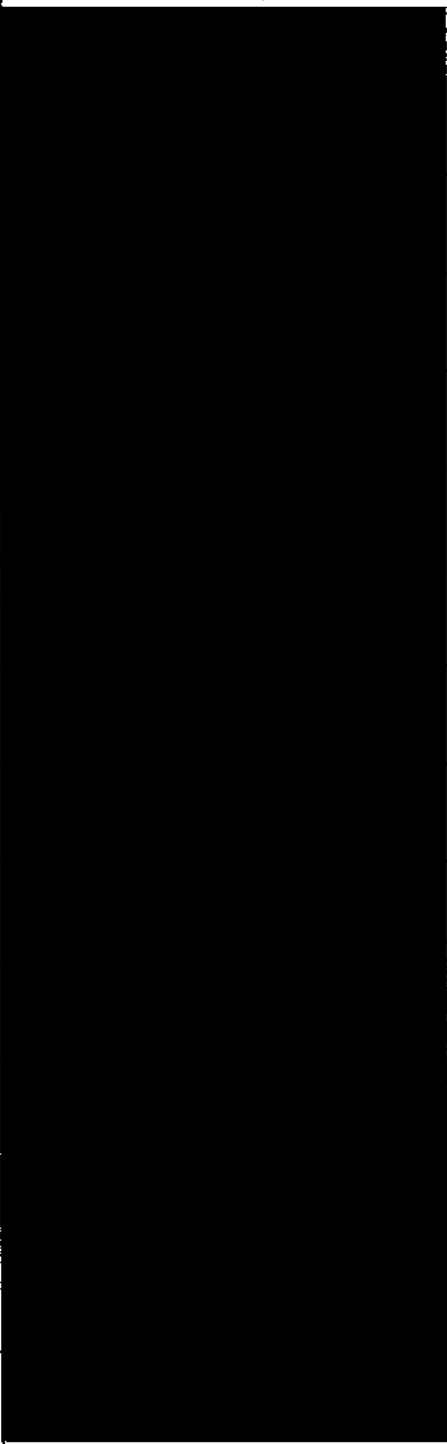
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
ゆうちょ銀行普通預金	146,136	
手元現金	3,570	
流動資産合計		149,706
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品		
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		149,706
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計	0	0
2. 固定負債		
固定負債合計	0	0
負債合計		0
正味財産		149,706

前事業年度の年間役員名簿

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

特定非営利活動法人マザーリーフ

No.	役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
1	理事長	藤 恵子		令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬無し
2	副理事長	湯浅 啓子		令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬無し
3	副理事長	上川 悦子		令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬無し
4	理事	笹山 理理		令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬無し
5	理事	平野 美代子		令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬無し
6	理事	持川 直子		令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬無し
7	理事	別所 恭子		令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬無し
8	理事	江川 郁恵		令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬無し
9	理事	石井 敦子		令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬無し
10	理事	篤原 草苗		令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬無し
11	理事	林 寛子		令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬無し
12	理事	土井 典子		令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬無し
13	理事	木下 由加		令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬無し
14	理事	光岡 亜希子		令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬無し
15	監事	福田 利恵		令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	報酬無し